

審 査 決 定 報 告 書

決算特別委員会

令和4年第3回水戸市議会定例会において当委員会に付託されました認定第1号（令和3年度水戸市一般会計及び特別会計決算認定について）の審査の経過並びに結果について、水戸市議会会議規則第101条の規定に基づき報告します。

当委員会は、第1回委員会を9月5日に開催し、正副委員長の互選を行い、委員長を飯田正美、副委員長を鈴木宣子君に決定しました。また、昨年度の委員会審査を踏まえ、決算審査に伴う請求資料は、発言通告に関連する事項を対象とすることを決定しました。

続いて、9月20、21、22日にそれぞれ委員会を開催し、提出された決算書及び審査資料を中心に、種々質疑応答を行うなど、その内容について慎重に審査を行った後、採決の結果、認定第1号は、賛成多数をもって、認定すべきものと決定しました。

なお、委員会の審査を通じ、今後の市政運営上留意すべき事項として各委員から出された主な意見は、次のとおりであります。

審 査 意 見

1 一般会計について

(1) 歳入について

ア 税の公平性の視点から、市税に係る収納対策の強化を図り、収納率のさらなる向上に努められたい。また、納税が困難な場合には、きめ細かな納税相談を実施するなど、丁寧な対応に努められたい。

イ 未利用財産については、民間への売却等を積極的に実施し、財源の確保と維持管理費の縮減を図られたい。

ウ 水戸黄門ふるさと寄附金については、本市の魅力向上や産業振興に資する返礼品の選定に努めるとともに、寄附額の増加に向けた取組を推進されたい。

(2) 歳出について

ア 会計年度任用職員の職務内容については、個々の能力や適性等を十分に考慮し、適切に配分されるよう精査されたい。

イ 公用車に係る交通事故の未然防止に向け、職員研修や講習会の開催回数を増やすなど、対策強化に努められたい。

ウ 1,000円タクシー運行事業については、高齢者等の交通弱者の移動手段として需要の増加が見込まれることから、対象地区のさらなる拡大や利用者負担の軽減等を検討されたい。

エ マイナンバーカードについては、国が設定した目標値を踏まえ、普及率のさらなる向上に向け、推進体制の強化に努められたい。

オ 防災無線機については、災害時における市民の安全確保に大変有効で

- あることから，引き続き計画的な配備と効果的な運用に努められたい。
- カ 空家等対策事業については，関係各課や地域住民との連携を図り，さらなる実態の把握と迅速な対応に努められたい。また，将来的には民間活力の活用も視野に入れるなど，空き家等の解消に向け，幅広い対策を検討されたい。
 - キ 市民の健康を守るため，がん検診の受診率向上に向けた取組のさらなる強化を図られたい。
 - ク コロナ禍や物価高騰等の影響により，厳しい経営状況に直面する農業従事者への支援が確実に行き届くよう，適切な予算の執行に努め，不用額の縮減を図られたい。
 - ケ 植物公園については，これまでのリニューアル整備による効果を踏まえ，市内外を問わず，より多くの方々に来園してもらえよう，事業のさらなる充実を図られたい。
 - コ 市内道路の欠損については，事故の未然防止のため，市民からの通報はもとより，庁内の関係各課で緊密な連携を図りながら状況把握に努められたい。
 - サ 東部公園の整備に当たっては，計画に基づいた予算執行に努め，スケジュールに遅れが生じないように，事業の推進を図られたい。
 - シ 本市のシンボルである千波湖の魅力向上のため，引き続き，水質浄化の取組を着実に推進されたい。

上記の意見に加え，委員から，「各種事業の実施に当たっては，庁内の横断的な連携強化や事業の創意工夫に努め，コロナ禍においても，市民が安全で，安心して暮らせる行政運営に取り組まれない」との発言があったこともあわせて報告いたします。

上記のとおり報告する。

令和4年9月28日

水戸市議会議長 須田 浩 和 様

決算特別委員会
委員長 飯 田 正 美